

平成 29 年 10 月 18 日

各 位

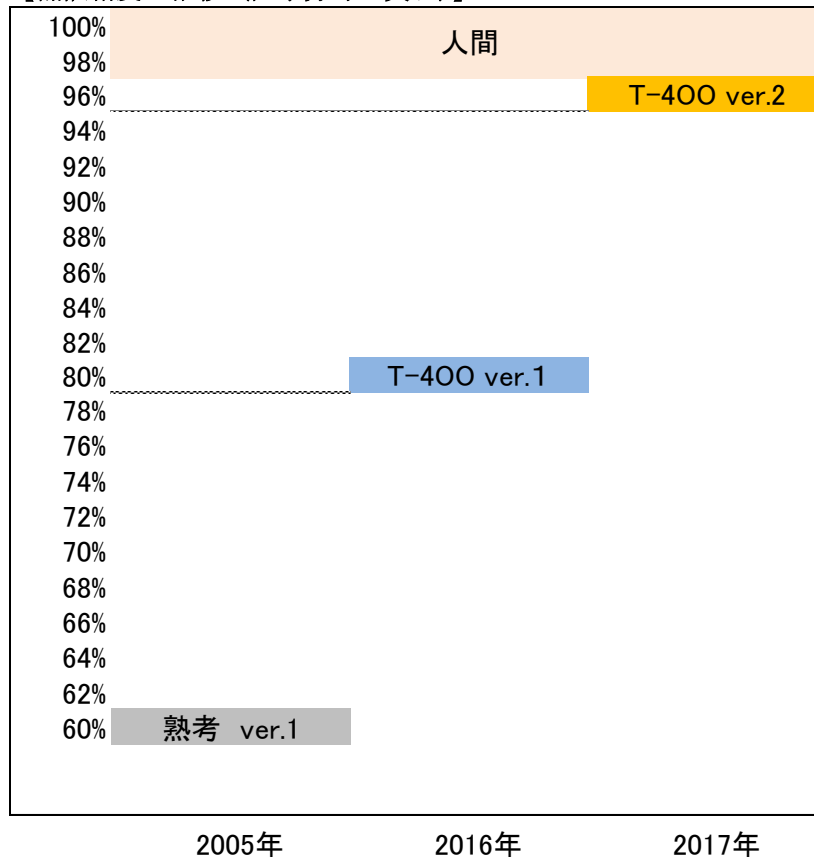
会 社 名 株 式 会 社 ロ ゼ ッ タ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 五 石 順 一
(コード番号：6182)
問 合 せ 先 取 締 役 執 行 社 長 COO 鼓 谷 隆 志
兼 グ ル ー プ 管 理 本 部 長
(TEL. 03-6685-9570)

機械翻訳開発の進捗及び今期経営方針の転換についてのご報告

弊社の機械翻訳の開発において飛躍的なブレークスルーが発生いたしました。弊社の従来の機械翻訳『T-400(ver.1)』の翻訳精度は60~80%程度(*1)ですが、開発中の最新翻訳機モデルにおいて数種類の分野(医学、化学分野等)の英日翻訳で精度95%(*1)に到達いたしました。精度95%とは、弊社が上場時に「ほぼ人間に匹敵する」精度として2025年(*2)までの到達目標として設定していた水準で、「プロの専門翻訳者以下、非専門翻訳者以上」として認識しております。

本年11月にリリースする『T-400(ver.2)』にて反映すると共に、今期はさらにこの精度を他のすべての主要分野にも適用することを、経営上の最優先テーマとしてフォーカスすべく、今期の方針を大きく転換いたします。具体的な方針転換の内容につきましては、本日開示いたしました「平成30年2月期(連結・個別)通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載しております。

【翻訳精度の推移(医学分野：英日)】



(*1) 翻訳精度数値は、人目評価による当社比の指標です。精度は、分野および言語方向により異なります。

(*2) その後、平成29年2月期第3四半期において目標を2025年から2022年に前倒ししていました。

この度の改善の最大の特長は、翻訳精度の大幅アップのみならず、読みやすく推敲された日本語の表現力にあります。以下の例のように訳文の読みやすさでは人間よりも優れているケースが多くみられ、原文との整合性においてはまだ完璧ではないものの、訳文だけ読むとどちらが人間か判別するのが難しいレベルに到達しています。

【翻訳改善例】

① (英文)

Strict use of the definition of FUO is thus unwarranted when managing patients with prolonged fever.

(人間訳)

FUO の定義の厳密な使用は、持続する発熱患者を管理する場合、必要ない。

『T-400 (ver. 1)』

FUO の定義の厳密な使用は、長期にわたる患者の管理時に unwarranted である。

『T-400 (ver. 2)』

したがって、長期間発熱している患者を管理する場合は、FUO の定義を厳密に使用する必要はない。

② (英文)

Patient selection is also important, which needs collaboration with ear, nose, and throat specialists.

(人間訳)

患者の選択も重要であり、耳鼻咽喉頭の専門医との協同を必要とする。

『T-400 (ver. 1)』

患者選択も重要であり、これは耳、鼻、および咽喉専門医との協働を必要とする。

『T-400 (ver. 2)』

患者の選択も重要であり、耳鼻咽喉科専門医との協力が必要である。

③ (英文)

He suffered from repeated attacks of pancreatitis since 5 years old and underwent pancreaticojejunostomy.

(人間訳)

5歳の時から繰り返し膵炎の発作を起こし、膵臓空腸造瘻を受けた。

『T-400 (ver. 1)』

彼は5歳以降の膵炎の反復攻撃を受けており膵空腸吻合を受けた。

『T-400 (ver. 2)』

5歳以降、膵炎発作を繰り返し、膵管空腸吻合術を施行した。

【今後の見通しについて】

本件に伴う今期の業績への影響につきましては、本日開示いたしました「平成30年2月期（連結・個別）通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載しております。

以上